

奈良県議会

第14号

だより

6月定例県議会の概要

【6月定例県議会】

第307回定例県議会が、6月20日から7月3日までの14日間にわたって開かれ、今定例会に提出された条例改正案や請負契約の変更など、30議案が審議されました。

代表質問は6月25日、26日に、一般質問は27日、28日の計4日間にわたって質疑が行われ、13人の議員が財政問題、防災対策、地域振興対策、広域連合問題、観光振興対策、福祉・医療問題、環境・エネルギー問題、経済・雇用対策、農林業問題、住宅問題、道路・河川整備、交通政策、文化・スポーツ振興対策、教育問題、交通安全対策、警察問題など県政全般について質問し、活発な議論が交わされました。

会期中には、各常任委員会が開催され、付託された議案の審査が行われました。

閉会日の7月3日には、各常任委員長報告が行われ、いずれも原案どおり可決、承認及び報告受理されました。また、昨年5月に設置された特別委員会の調査並びに審査の経過について、中間報告が行われました。

また同日、正副議長選挙が行われ、議長に上田悟議員が、副議長に高柳忠夫議員が選出されました。

さらに、議会運営委員会、常任及び特別委員会の正副委員長及び委員の選出を行うとともに、監査委員の選任同意議案に同意されました。

編集・発行／奈良県議会
平成24年8月1日発行
〒630-8501
奈良市登大路町30番地
TEL 0742-27-8964
奈良県議会だよりは年4回
(6、8、12、2月)の発行予定です。

議会トピックス

正副議長、各委員会の委員が決まりました



議長
上田 悟
(自由民主党)



副議長
高柳 忠夫
(民主党)



監査委員

除 真夕美
(公明党)

森山 賀文
(民主党)

《議会改革推進会議について》

議会改革推進会議が5月23日に開催され、予算・決算審査特別委員会の見直しや請願、陳情等の取扱いなどについて、協議を行いました。その中で請願、陳情の取扱いとして、従前の開会日の1週間前を、開会日の前日までに提出のあったものを、その定例会で処理することで意見がまとまり、6月20日の各派連絡会で、9月定例会から実施することが決定されました。

常任委員会 新委員名簿 (敬称略)

総務警察委員会

総務部、地域振興部、会計局、選挙管理委員会、人事委員会、監査委員及び公安委員会の所管に属する事務に関する事項並びに他の常任委員会の所管に属しない事項を所管します。(定数9名)

- | | |
|---|---|
|  |  |
| 委員長
出口 武男 | 副委員長
大国 正博 |
| 委員
山村 幸穂
乾 浩之
上田 悟 | 委員
荻田 義雄
国中 憲治
中村 昭
藤本 昭広 |

厚生委員会

健康福祉部及び医療政策部の所管に属する事務に関する事項を所管します。(定数9名)

- | | |
|---|---|
|  |  |
| 委員長
尾崎 充典 | 副委員長
小泉 米造 |
| 委員
井岡 正徳
小林 照代
除 真夕美 | 委員
安井 宏一
高柳 忠夫
米田 忠則
梶川 虔二 |

経済労働委員会

産業・雇用振興部、農林部、労働委員会及び内水面漁場管理委員会の所管に属する事務に関する事項を所管します。(定数8名)

- | | |
|---|---|
|  |  |
| 委員長
岡 史朗 | 副委員長
猪奥 美里 |
| 委員
阪口 保
田中 惟允
森山 賀文 | 委員
神田加津代
今井 光子
松尾 勇臣 |

建設委員会

土木部、水道局及び収用委員会の所管に属する事務に関する事項を所管します。(定数9名)

- | | |
|--|---|
|  |  |
| 委員長
辻本 毅士 | 副委員長
新谷 紘一 |
| 委員
太田 敦
森川 喜之
岩田 国夫 | 委員
粒谷 友示
秋本登志嗣
山下 力
川口 正志 |

文教くらし委員会

くらし創造部及び教育委員会の所管に属する事務に関する事項を所管します。(定数9名)

- | | |
|---|---|
|  |  |
| 委員長
藤野 良次 | 副委員長
宮本 次郎 |
| 委員
小林 茂樹
浅川 清仁
中野 雅史 | 委員
奥山 博康
山本 進章
和田 恵治 |

※議会運営委員会及び各特別委員会の委員名簿については、4頁に掲載しています。

代表質問

保育施策の充実



小林 照代議員(日本共産党)

問 保育施策の最大の課題は待機児童の解消であると考えており、県として国に認可保育所建設のための財源確保を求めると併せて、その整備を重点的に進めるべきと考えますがどうか。

答 県では安心こども基金を活用して、平成21年度から平成23年度末までに、9箇所の保育所新設、7箇所の増設により、約1300人の定員増を図ってきた。しかし、平成21年度からの3年間で保育所入所児童数は約1700人増え、定員増加数を上回っている。このため平成24年度までとなっている安心こども基金による保育所整備の事業期間を平成25年度以降も延長するよう、また延長しない場合でも、これに代わる財政措置を講ずるよう、引き続き、国に対して要望してまいりたい。

その他の質問項目

●大飯原子力発電所の再稼働 ●社会保障・税一体改革 ●障害者福祉制度 ●国民健康保険



原発政策



尾崎 充典議員(民主党)

問 原発政策については、即時に原子力発電所を全廃することができないという現実に対し、自然エネルギーへの転換を図りながら、将来的には原発を廃していく「脱原発依存」と考えているが、今後の原発政策について、知事の考えを伺いたい。

答 原発については、即時に全廃することは現実的ではなく、当面現状維持はやむを得ないものの、長期的には全発電量に占める原発の比率、依存度をできるだけ下げる方向で努力し、多様なエネルギー源を探索すべきと考える。原発を利用していかざるを得ない現状では、特に安全性を最大限に高めるため、最先端の知見を集めて不断の努力を続けるべきである。その上で「脱原発依存」をどのレベルまで追求すべきか、代替エネルギーの供給可能性も探しつつ、国をあげて議論しなければならぬ課題と考える。

その他の質問項目

●関西広域連合への参加 ●地域内分権 ●紀伊半島大水害からの復旧・復興



新警察本部長の所信



小林 茂樹議員(自由民主党)

問 奈良県の治安を担う最高責任者として、今後、どのように県警察を運営しようとしているのか本部長着任にあたっての抱負と所信を伺いたい。

答 着任時の訓示で、「正・強・仁・信の精神の実践」について指示をしました。警察の原点は「正義」と「力強さ」、これに加え、「誠実と思いやりの心」を併せ持ち、県民の視点に立った警察活動を通じてその「信頼」を得ることが重要であると考えます。厳しい治安情勢のもと、運営指針として「安全で安心して暮らせる奈良の実現」を掲げ、全職員が心と力を合わせて、組織の総合力を発揮し、犯罪の起きにくい社会づくりや交通事故防止対策等の推進に全力を尽くしてまいります。

その他の質問項目

●紀伊半島大水害からの復旧・復興 ●外国人観光客誘致の取組 ●国民健康保険制度 ●地域自主戦略交付金 ●県立高校の魅力づくり



陸上自衛隊の駐屯地の誘致



岩田 国夫議員(自由民主党「未来」)

問 陸上自衛隊の駐屯地の誘致について、昨年9月に質問をしたが、その後、県としてどのような活動を行ったのか。また、今後どのような活動をしようとしているのか。

答 最近の誘致活動としては、昨年9月に防衛大臣にお会いして災害派遣のお礼を申し上げた際、駐屯地誘致に関して要望を行いました。また昨年11月には防衛副大臣に政府要望の説明、陳情を行ったところ。さらに五條市と意見交換や勉強会を重ねており、徳島県の誘致事例の研究等を行ってきた。今後さらに、五條市において誘致に関する気運の醸成等を図っていただくとともに、引き続き国や関係機関に粘り強く働きかけてまいりたい。

その他の質問項目

●災害廃棄物の広域処理 ●上下水道事業における老朽化対策 ●記紀・万葉プロジェクトの推進 ●林業の振興 ●通学路の安全対策



正倉院展の期間延長



梶川 虔二議員(なら元気クラブ)

問 正倉院展には毎年多くの方が訪れており、タクシー運転手から期間を延長してほしいと話をされたことがある。また今年から始まる「記紀・万葉プロジェクト」を盛り上げるためにも、正倉院展の期間延長を国に働きかけ実現すべきと考えるがどうか。

答 平城遷都1300年祭が開催された年に、通常17日間を20日間に延長していただいた。この正倉院展は、本来、温度や湿度の変化の少ない秋に行う宝物の点検や調査の機会を利用して開催されている事情から、宝物の保存管理上、現在の開催日数が限界であると、宮内庁及び正倉院事務所の見解である。正倉院宝物をいつでも鑑賞したいという方は多くおられ、正倉院宝物に匹敵する復元宝物の特別展覧会を、来年春に県立美術館において開催することを検討している。

その他の質問項目

●脱原発とエネルギー問題 ●「買い物・通院難民」の方々に対する地域公共交通の取組 ●公営住宅等 ●女性団体への支援等 ●県道椿井王寺線の改良



学研高山第2工区の新たなまちづくり



粒谷 友示議員(自由民主党改革)

問 学研高山第2工区は、企業立地の条件が整っていないが、これまでの県内の企業立地の状況を見ると、学研高山第2工区においても企業立地を核とした新たなまちづくりが出来るのではないかと考える。学研高山第2工区についての知事の考えを伺いたい。

答 高山第1工区は、平成21年に行った規制緩和や県で設けている企業立地促進のための補助金の効果もあり、上六印刷(株)が操業を開始され、また、幸信プラスチック(株)の立地が決定した。このような状況を見ると、この地域は企業立地において潜在可能性の大きな地域であると考えられる。県ではこれまで高山第2工区のまちづくりの提案を生駒市及び都市再生機構に対し積極的に行っており、整備が必要と考えており、まちづくりの主体である地元が、第2工区の開発に熱意を示されるようであれば、相談に乗りたい。

その他の質問項目

●企業誘致の効果と課題 ●県内消費の拡大 ●消費拡大につながる奈良公園整備 ●県民の健康づくりの推進 ●自転車の交通事故の現状と対策





防災計画の見直し

猪奥 美里議員(民主党)

問 地域住民の視点や女性の参画等を防災計画に盛り込むためには、防災計画の見直しを行政内部だけでなく、NPOや民間等と連携する仕組みを設けるべきと考えるがどうか。

答 防災計画の見直しにあたっては、避難のあり方を中心に検討を進めており、必要に応じてボランティア、民間の方々等の意見を聞きながら進めていきたい。また、防災会議の委員に自主防災組織の構成員や学識経験者を加えられることとなったことから、全体計画の策定にあたっては、NPO、ボランティア等の方々の意見をできるだけ踏まえていきたい。

その他の質問項目 ●北和の休日夜間応急診療所の体制整備



脱原発・自然エネルギー社会の実現

和田 恵治議員
(なら元気クラブ)

問 福島原発事故で見た原子力エネルギーの怖さやそれによる大災害を踏まえ、原子力発電所の危険性の県民への啓発も含め、脱原発にどのように取り組むのか。

答 将来的に「脱原発」をどのレベルまで追求するかは長期的課題であり、エネルギー政策を中心となつて行う国が、正確で客観的な情報を国民に提供し、国民的議論が展開されるべき。本県としても、多様なエネルギー源の探求に取り組むとともに、電気をより使わないライフスタイルに変換していくため、奈良の生活スタイルとしての節電の定着を、奈良県節電協議会における協議課題としている。

その他の質問項目 ●電力需給の状況把握●震災がれき広域処理化問題●ITを活用した地域医療の連携



橋梁の長寿命化対策

塚 真夕美議員(公明党)

問 橋や道路施設などの社会資本について、耐用年数を経過するなど、老朽化による防災力の低下が課題となっている。中でも橋梁の長寿命化は非常に大切であると思うが、県としてどのように取り組まれているのか。

答 県では平成19年度より橋長15m以上の橋梁726橋すべての点検を実施し、平成22年2月に「奈良県橋梁長寿命化修繕計画」を策定。早急に補修が必要な76橋については、平成26年度までに対策を完了予定である。その他の650橋についても、毎年簡易点検を実施し、計画的に補修を実施する予防保全に取り組む。また希望される市町村に対しては橋梁点検や長寿命化修繕計画策定を県が受託、県内すべての市町村で平成24年度までに点検を、平成25年度までに長寿命化修繕計画策定を完了させることとしている。

その他の質問項目 ●仮設住宅住まいの解消に向けて●住民の避難対策●防災会議における女性の参画比率の向上●学校施設の非構造部材の耐震化●「ムジークフェストなら」の状況と今後の県の文化芸術振興●県立奈良病院移転後のまちづくり●平城宮跡の魅力向上



リニア中央新幹線の全線同時開業に向けた取組強化

新谷 統一議員(自由民主党)

問 東京・名古屋間が、あと2年で着工される今、JR東海のいう二段階整備ではなく、全線同時開通並びに中間駅を決定すべきと考えるがどうか。

答 現行ルートが決定された意義や観光振興などの観点から、全線同時開業が強く望まれる。そのため、紀伊半島知事会議では、「三県アピール」を採択するなど近隣県と連携した取組を強化している。今後とも名古屋・大阪間のルートや駅位置などの早期決定を関係者に強く要望していきたい。

その他の質問項目 ●県立病院及び医大附属病院における医薬分業の推進●道路整備●自転車の振興●北方領土問題●生活保護●児童虐待防止対策



子どもたちに夢や希望を与えるスポーツの振興

安井 宏一議員(自由民主党)

問 スポーツを振興していくうえでは、子どもたちに夢や希望を与えることが大切なことと考えるが、どのように取り組もうと考えているのか。

答 子どもたちがトップアスリートと触れあい、夢や希望を抱ける取組として、下北山村に王貞治氏を迎えて交流試合を行う「世界少年野球大会」や、橿原公苑において開催される女子サッカーなどでリーグの公式戦など、プロの試合の誘致やスポーツ教室等のイベントを多く開催していきたい。

その他の質問項目 ●大和川流域総合治水対策●食の魅力向上による県産農産物の振興●若者の雇用対策●子どもの体力向上

国への意見書、決議

この定例会では、意見書7件を可決しました。意見書は、内閣総理大臣のほか関係大臣などに提出しました。

【意見書】

- 地域自主戦略交付金制度の見直しを求める意見書
- 地方財政の充実、強化を求める意見書
- 年金受給資格期間の短縮を求める意見書
- 父子家庭支援策の拡充を求める意見書
- 公共建築物における国産材の利用拡大に関する意見書
- 所得税法第五十六条の見直しを求める意見書
- 「防災・減災・ニューディール」による社会基盤再構築を求める意見書



全国豊かな海づくり大会の開催

小泉 米造議員
(自由民主党改革)

問 大会準備の一環として「県のさかな」も制定されたところであるが、全国豊かな海づくり大会の開催に向け、どのように取り組んでいくのか。

答 主催者である「豊かな海づくり大会推進委員会」に対し、運営方法、河川環境、水産資源、南部地域の魅力ある歴史的資源等の情報を提供し、内容を検討頂いている。夏には副知事をトップに、関係機関・団体で構成する準備委員会を設置し、県内外の来訪者のもてなし方法等受け入れ体制の企画検討を進める予定。

その他の質問項目 ●がん対策●リニア中央新幹線の整備促進●「空き家」対策●県営住宅九条松ヶ丘団地●古事記を題材にした教育●子どもたちの規範意識の向上



「平群の小ギク」の更なるブランド確立への支援

宮本 次郎議員(日本共産党)

問 「平群の小ギク」の更なるブランド確立に向け、気象変動に影響されない生産技術の確立への支援、若い人たちが経営に意欲的に取り組めるような支援について伺いたい。

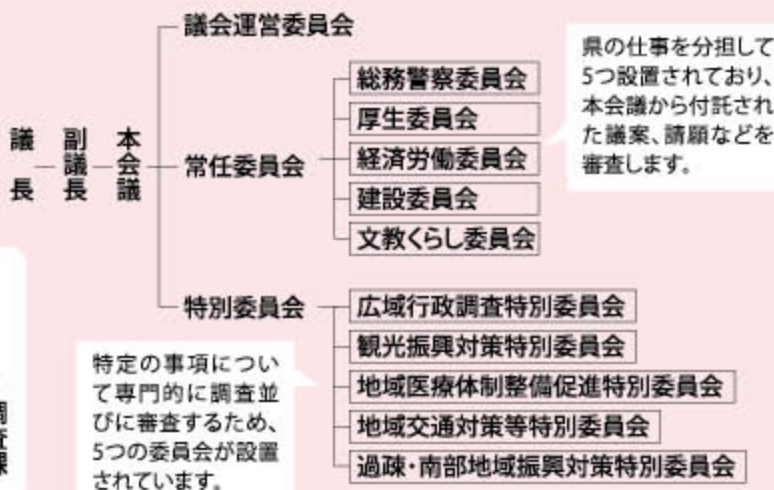
答 県ではギクをリーディング品目に位置づけ、一斉収穫に適した「春日の紅」を育成し、電照栽培と組み合わせ、盆時期に集中的に出荷できるようにした。又収穫等の手作業時間を短縮するため作業機を開発、害虫対策として、農薬使用量を削減できる超簡易ネットハウスの開発等によりブランド力強化に取り組んでまいりたい。

その他の質問項目 ●リニア中央新幹線の再考●身近な公共交通への支援●通学路の安全

議案等の議決結果				
項目	件数	件名	議決結果	議決態様
6月定例県議会				
平成24年度議案				
知事提出の条例案件	5件	奈良県税条例等の一部を改正する条例等	原案可決	全会一致
知事提出のその他案件	4件	市町村負担金の徴収について等	原案可決	全会一致
	1件	監査委員の選任について	原案同意	全会一致
	18件	平成23年度奈良県一般会計予算繰越計算書の報告について等	報告受理	全会一致
	1件	地方自治法第179条第1項の規定による専決処分の報告について	原案承認	全会一致
平成23年度議案				
知事提出のその他案件	1件	地方自治法第179条第1項の規定による専決処分の報告について	原案承認	全会一致
諮問案件	1件	行政財産を使用する権利に関する処分に対する異議申立てについて	本件異議申立てについては、却下すべきである。	全会一致
請願	2件	行政委員の月額報酬見直しに関する請願書等	継続審査	賛成多数

お詫び 6月1日発行の奈良県議会だよりで、奥山博康議員の代表質問の写真を、内容に沿わないものを掲載しましたことをお詫びいたします。

県議会のしくみ



議会広報メニュー

奈良県議会では議会の審議状況等を県民の方々に、テレビ放映、インターネット中継等により発信しています。

テレビ放映

代表・一般質問及び2月定例会知事提案理由説明を奈良テレビ放送で生中継により放映しています。次期定例会は、9月の予定です。

インターネット動画配信

毎定例会の全日程及び常任・特別委員会、予算審査特別委員会、決算審査特別委員会の審議の様子について、中継及び録画配信しています。

奈良県議会ホームページ
http://www.pref.nara.jp/dd_aspx_menuid-1690.htm

奈良県議会

検索

議会運営委員会 新委員名簿 (敬称略)

議会運営委員会は、次に掲げる事項に関する調査を行い、議案、陳情等を審査します。

- ①議会の運営に関する事項
- ②議会の会議規則、委員会に関する条例等に関する事項
- ③議長の諮問に関する事項



委員長
國中 憲治



副委員長
藤野 良次

委員

大国 正博 岩田 国夫
尾崎 充典 今井 光子
中野 雅史 新谷 絃一
神田加津代 梶川 虎二
荻田 義雄

特別委員会 新委員名簿 (敬称略)

広域行政調査特別委員会

県内の広域行政に関すること、関西広域連合に関すること及び分権時代にふさわしい広域行政のあり方を調査並びに審査します。(定数9名)



委員長
井岡 正徳



副委員長
今井 光子

委員
尾林 茂樹 除 真夕美
尾崎 充典 奥山 博康
藤野 良次 新谷 絃一
梶川 虎二

観光振興対策特別委員会

ポスト1300年祭の観光振興に関する調査並びに審査します。(定数9名)



委員長
藤本 昭広



副委員長
粒谷 友示

委員
阪口 保 岩田 国夫
猪典 美里 和田 憲治
小林 照代 國中 憲治

地域医療体制整備促進特別委員会

高度医療拠点病院の整備に関する調査並びに審査します。(定数8名)



委員長
森川 喜之



副委員長
松尾 勇臣

委員
大国 正博 神田加津代
山村 幸穂 荻田 義雄
中野 雅史 中村 昭

地域交通対策等特別委員会

「奈良県交通基本戦略」に基づく交通施策の推進に関する調査並びに審査します。(定数8名)



委員長
安井 宏一



副委員長
乾 浩之

委員
森山 賀文 米田 忠則
宮本 次郎 出口 武男
高柳 忠夫 小泉 米造

過疎・南部地域振興対策特別委員会

過疎地域自立促進計画の推進に関する調査並びに審査します。(定数9名)



委員長
山本 進章



副委員長
岡 史朗

委員
太田 敦 辻本 黎士
田中 惟允 秋本登志郎
浅川 清仁 山下 力
川口 正志

「なら燈花会」に併せて 県議会議場を一般開放します。

《議場見て歩き》

今年も県議会議場を「なら燈花会」の開催されます8月5日から14日までの間、一般開放いたします。

日頃は入ることができない議員席から、議場の雰囲気を見ていただくことができます。

また、2階ロビーでは「議会ミニ音楽会」の開催も予定しております。

「なら燈花会」に来られた際には、ぜひ奈良県議会にお立ち寄りいただき、県議会議場を身近なものとして感じ取っていただけたら幸いです。

お待ちしております。

奈良県高校生議会が開催されます。

平成24年8月21日(火)、次世代を担う高校生が、知事及び県議会議員と、住みよく魅力ある奈良県づくりについて意見を交換することにより、奈良県政や県議会への理解と関心を高めることを目的に、高校生議会を開催します。次の県内8校から35名の高校生が議員となって、県の政策等についての質問や、政策提言を行うとともに、県議会議員と意見交換を行います。

参加校：西大和学園高等学校、県立奈良高等学校、県立奈良東養護学校、県立大和中央高等学校、県立磯城野高等学校、聖心学園中等教育学校、県立十津川高等学校、県立山辺高等学校